

令和6年度 「学校生活に関するアンケート（後期）」結果の報告と今後の取組について

大洲市立新谷小学校

$$\text{達成率} \cdots (A + B) / (A + B + C + D) \times 100$$

評価・・・ A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない ? 分からない

			A	B	C	D	?	後期 達成率	前期 達成率	判定		
学習活動	1	保護者	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人 26 % 31.0	43 51.2	6 7.1	2 2.4	7 8.3	89.6	88.4	B	
		児童	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業をしている。	人 143 % 88.8	16 9.9	0 0	0 0	2 1.2	100	99.4	A	
		教職員	教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人 1 % 9.1	10 90.9	0 0	0 0	0 0	100	100	A	
		分析・改善	保護者の達成率が前期より1%増となっているが、保護者と教職員との達成率の差は約10%と前期とほぼ変わらない。児童の達成率は100%となっており、日々の授業の工夫が少しずつ肯定的な見方につながっていると考える。 【今後の取組】 ・板書の約束やノートの取り方など、日々の授業実践に努める。 ・学習の様子を学年通信やホームページ等で分かりやすく公開していく。 ・個別に支援が必要な児童に対して、指導の時間を確保する。									
	2	保護者	お子様は、家庭学習をきちんと行っている。	人 30 % 35.7	39 46.4	12 14.3	3 3.6	0 0	82.1	82.3	B	
		児童	わたしは、家できちんと宿題をしている。	人 124 % 76.5	34 21.0	2 1.2	2 1.2	0 0	97.5	98.1	A	
		教職員	学校は、家庭と協力して、家庭学習の充実を図っている。	人 3 % 27.3	8 72.7	0 0	0 0	0 0	100	100	A	
		分析・改善	保護者・児童ともに、わずかではあるが達成率が下がっている。教職員の100%は適当なのか、宿題の出し方・内容だけでなく、提出後の処理も含めて見直す必要がある。 【今後の取組】 ・できるわかる喜びを感じられる課題の内容と、出し方・評価を工夫する。 ・基礎学力の定着のため、ドリルや漢字練習などは毎日の課題として出す。（全学年統一） ・個別に配慮が必要な児童には、課題の量や内容を保護者と相談して配慮する。									
	3	保護者	お子様は、読書を積極的に行っている。	人 19 % 22.6	22 26.2	27 32.1	16 19.0	0 0	48.8	55.8	C	
		児童	わたしは、進んで読書をしている。	人 85 % 52.5	48 29.6	20 12.3	6 3.7	3 1.9	83.6	81.4	B	
		教職員	学校は、読書活動を充実させる取組を行っている。	人 7 % 63.6	4 36.4	0 0	0 0	0 0	100	100	A	
		分析・改善	保護者の読書に対する学校への評価は、前期より7%下がっている。前期に肯定的なA評価だった保護者が、11人減少した。学校では、「読書の日」やみきゃん通帳の活用などの工夫はしているが、まだまだ保護者や児童には浸透していない。 【今後の取組】 ・読書に励んでいる児童の様子を「見える化」する。（多読書者の名前の掲示） ・低学年は、毎日本を借りる時間を確保しているが、貸出期間は1週間あることを児童・保護者に周知し、しっかり読んでから次の本を借りるようにする。 ・学童と共通理解を図り、読書と感想記入は学童でもできるようにし、確認は家庭で行うようにする。 ・読書の日や朝ドリル（読書）の時間を使って、月1回読書の状況を個々で振り返る機会を持つ。（1週間以上借りたまま、または借りていない、冊数、よかった本等）その際、必要な児童への声掛けを行う。 ・高学年は、読書の量に差があるので、教室前のスペースや本棚を学習関連のものや、5・6年が興味を持ちそうなもの（歴史ものやシリーズもの等）に置き換える。 ・「図書館使い」の内容を見直し、児童や保護者へ啓発する。									

4	保護者	お子様は、楽しい学校生活を送っている。	人	42	36	4	1	0	94.0	95.8	A
			%	50.6	43.4	4.8	1.2	0			
	児童	学校の生活は、楽しい。	人	133	23	5	0	1	96.9	96.9	A
			%	82.1	14.2	3.1	0	0.6			
教職員	子供たちは、楽しく学校生活を送っている。	人	6	5	0	0	0	100	100	A	
		%	54.5	45.5	0	0	0				
	分析・改善	保護者、児童、教職員ともに90%以上の高い達成率を得られている。しかし、児童の中で5名が「あまりそう思わない」と回答しているので、全ての児童が「学校は楽しい」と考えるようにすることが大切である。 【今後の取組】 ・学校での子供達の様子や頑張りや、積極的に学年通信等で発信する。 ・教職員が、児童の自己肯定感を高められるような言葉掛けや関わり方を工夫する。 ・「ありがとうの木」を積極的に活用する。									
5	保護者	お子様は、元気な挨拶や時と場に応じた言葉遣いができている。	人	13	49	20	2	0	73.8	76.3	C
			%	15.5	58.3	23.8	2.4	0			
	児童	わたしは、元気なあいさつや正しい言葉づかいができている。	人	95	58	7	1	1	95.0	98.1	A
			%	58.6	35.8	4.3	0.6	0.6			
教職員	子供たちは、元気な挨拶や時と場に応じた言葉遣いができている。	人	1	7	2	1	0	72.7	83.3	C	
		%	9.1	63.6	18.2	9.1	0				
	分析・改善	児童の達成率は高いが、保護者・教職員の達成率は約70%と低くなっている。この結果より、児童は挨拶ができていると考えているが、保護者、教職員はそうは思っていないことが分かる。 【今後の取組】 ・集会・生活委員会が行っている挨拶運動を根気よく継続していく。更に、先取り挨拶の意義について指導を行う。 ・教職員が手本となる挨拶や言葉遣いに心掛ける。また、子供たちの良い行いや言葉遣いなど、手本となる児童を見付けたり、紹介したりする場を設ける。 ・校内放送を利用して挨拶の意義などについて再確認する。									
6	保護者	学校は、子供の話や相談にきちんと対応している。	人	19	47	6	2	9	89.2	89.3	B
			%	22.9	56.6	7.2	2.4	10.8			
	児童	困ったとき、先生は相談にのってくれる。	人	137	22	2	0	1	98.8	99.4	A
			%	84.6	13.6	1.2	0	0.6			
教職員	学校は、子供や保護者の悩みに対して、きちんと相談にのっている。	人	4	5	2	0	0	81.8	100	B	
		%	36.4	45.5	18.2	0	0				
	分析・改善	「あまりそう思わない」と答えている2名の児童を見逃さないようにしなければならない。学校での児童の様子をきちんと保護者に伝え、保護者からの声を大切に、しっかりと信頼関係を築いていく必要があると考える。 【今後の取組】 ・月末生活調査の実施と対応の徹底に努める。 ・保護者に学校での児童の様子（指導・相談にのったことや良い行い）を伝える。 ・日頃の児童の様子をしっかりと見て、小さな変化も見落とさないように努めるとともに、児童一人一人との信頼関係づくりに努める。									
7	保護者	学校は、いじめを許さない教育に取り組んでいる。	人	20	46	3	2	13	93.0	86.8	A
			%	23.8	54.8	3.6	2.4	15.5			
	児童	どんな理由があっても、いじめはいけなことだと分かって生活している。	人	153	8	0	0	1	100	98.1	A
			%	94.4	4.9	0	0	0.6			
教職員	学校は、いじめの早期発見に努め、早期解決・再発防止に取り組んでいる。	人	5	5	1	0	0	90.9	100	A	
		%	45.5	45.5	9.1	0	0				
	分析・改善	保護者・児童ともに、いじめに対する意識が高まり、達成率が上がっている。しかし、教職員に関しては、1名「あまりそうは思わない」と回答しており、前期と比べると達成率が下がっている。 【今後の取組】 ・いじめ・問題行動についての未然防止全校集会を学期の始めと終わりで実施する。 ・「教職員がチームで対応」「いじめ対応マニュアルの確認」等、教職員間で情報を共有して共通理解を図る。 ・いじめ撲滅のポスターを作成し、啓発する。（集会・生活委員会で作成）									

健康・安全	8	保護者	お子様は、学校の決まりや交通ルールを守って生活している。	人	32	44	5	0	2	93.8	92.3	A	
		%	38.6	53.0	6.0	0	2.4						
		児童	わたしは、学校の決まりや交通ルールを守って生活している。	人	143	19	0	0	0	100	99.4	A	
		%	88.3	11.7	0	0	0						
教職員	子供たちは、学校の決まりや交通ルールを守って生活している。	人	2	8	1	0	0	90.9	83.3	A			
%	18.2	72.7	9.1	0	0								
分析・改善	<p>保護者・児童・教職員ともに達成率が90%を超え高い状況である。教職員間で共通理解を図りながら、守られていない決まりやルールについての指導を継続していく必要があると考える。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の決まりやルールについて、全校集会で具体的に示したり、集会・生活委員会で掲示物を作成して掲示したりする。 問題が起こる前の事前指導や、問題が起こってから事後指導などを徹底する。 保護者や地域からの要望や注意事項に対して教職員間で情報共有を図り、児童に対して指導・伝達していく。 												
健康・安全	9	保護者	お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いている。	人	24	43	13	4	0	79.8	81.3	C	
		%	28.6	51.2	15.5	4.8	0						
		児童	わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。	人	98	47	10	3	4	91.8	91.8	A	
		%	60.5	29.0	6.2	1.9	2.5						
教職員	子供たちは、基本的な生活習慣が身に付いている。	人	1	9	1	0	0	90.9	100	A			
%	9.1	81.8	9.1	0	0								
分析・改善	<p>保護者の達成率が前回より下がっている。家庭での基本的な生活習慣を定着させるために、引き続き家庭への啓発を続ける。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早寝早起き朝ごはん、生活リズムチェックを継続して実施し、分析結果を保健だより（ホームページでの発信）や学校保健委員会で啓発する。 子供向け研修会を実施（学級活動等）する。 												
家庭・地域連携	10	保護者	学校は、家庭や地域と連携して体験学習などの教育活動を行っている。	人	32	37	7	0	8	90.8	94.0	A	
		%	38.1	44.0	8.3	0	9.5						
		児童	地域を知る学習や地域の人と一緒に学ぶのは楽しい。	人	130	27	3	1	0	97.5	98.1	A	
		%	80.7	16.8	1.9	0.6	0						
	教職員	学校は、家庭や地域と連携して体験学習などの教育活動を行っている。	人	5	6	0	0	0	100	100	A		
	%	45.5	54.5	0	0	0							
	分析・改善	<p>前期・後期共に、保護者、児童、教職員の全てにおいて、90%を超える高い達成率である。地域コーディネーターとの連携が大きく、今年度もたくさんの地域ボランティアの方々、様々な教育活動に関わっていただいているおかげであると考え。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子をホームページや校報等、各種通信で積極的に紹介する。 今後も地域ボランティアの方々や各種団体との連携を図り、地域と共にある学校づくりに努める。 											
	11	保護者	学校は、教育活動の様子をホームページ等を通して家庭や地域に積極的に配信している。	人	45	32	3	1	2	95.1	98.7	A	
%		54.2	38.6	3.6	1.2	2.4							
児童		わたしは、おたよりなどをきちんと家の人にわたしている。	人	120	34	6	0	2	96.3	96.9	A		
%		74.1	21.0	3.7	0	1.2							
教職員	学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に配信している。	人	7	4	0	0	0	100	100	A			
%	63.6	36.4	0	0	0								
分析・改善	<p>前期・後期共に、保護者、児童、教職員の全てにおいて、95%を超える高い達成率である。今後も早めのブログ更新と継続的な校報、学年通信等の発行を行っていく必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各主任から出される情報データを全学級で共有し、学年通信等で発信する。 ホームページの「新谷小日記」（ブログ）は、記事の量や写真のサイズなども考えた見やすいものとなるように努める。 												